

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

日毎に暑さが厳しくなってきましたが、皆様におかれましては如何おすごでしょうか。

さて、4月の統一地方選挙も終わり、新たな顔ぶれでの議会活動がスタートいたしました。私は昨年度、所属しております「新政あいち県議団」の政策調査会長を務めさせて頂いた関係上、新たな任期4年間の議会運営方法について協議する「各派世話人会」のメンバーを務めさせていただきました。

そして、「各派世話人会」での議論を経て、5月臨時議会にて全ての議会人事が決定し、私は今年度「県民環境委員会」と「産業イノベーション推進特別委員会」に所属する事となりました。

特に常任委員会である「県民環境委員会」は、文化芸術・青少年の健全育成・男女共同参画・生活及び自然環境保全、そして地球温暖化対策等々、幅広い分野を所管する委員会であり、且つ、皆様のご支援を頂戴し県政に送り出して頂き9年目にして初めて所属する委員会でもありますので、皆様からの様々なご意見を頂戴しながら県政に反映すべく活動してまいります。

また、特別委員会の「産業イノベーション推進特別委員会」は、次世代産業の育成等の推進に係る諸問題調査を行うための委員会ですが、本県の基幹産業である自動車産業はCASEと言われる自動運転や電動化等の100年に一度の大変革期を迎えており、また、他の産業においてもAI・IoTの驚異的な技術革新により、県内の産業構造は大きく変化していく事が予想されています。

従って、特別委員会での調査等を通じて、産業イノベーションを後押しする愛知ならではの新たな施策を模索すると同時に、「産業首都あいち」の更なる発展に向けて微力ではありますが取り組んでまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 